



NCC 日本キリスト教協議会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-24 振替 00180-4-75788
TEL : 03-6302-1919 FAX : 03-6302-1920
E-mail : general@ncc-j.org http://ncc-j.org

NATIONAL CHRISTIAN COUNCIL IN JAPAN

JAPAN CHRISTIAN CENTER 24, 2-3-18 Nishiwaseda, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-0051 JAPAN
Phone : 81-3-6302-1919 Fax : 81-3-6302-1920
E-mail : general@ncc-j.org http://ncc-j.org

関係者各位

「NCC主催・宣教会議 2018」および「プレ集会」のお知らせ

＋主の平和がありますように

NCCは近年、1998年（NCC創立50周年）と2005年に2回の宣教会議を開催し、様々な課題を共有し、祈りを共にしてきました。キリスト者の奉仕の働きが、み言葉に基づくものであること、社会の課題を教会の祈りとするために、エキュメニカル・カレンダーを作り、次世代へとつなげていくために子ども平和会議を開催し、各委員会の働きを共に担ってきました。2005年から10年を超える月日が流れる間に、私たちは、災害や原発事故、深刻化する経済格差や差別・暴力、政治のさらなる右傾化など、多くの課題に直面してきました。また、キリスト教諸教派・団体に目を向ければ、信徒および担い手の高齢化と人数の減少、リーダー層の世代交代といった課題を抱え、エキュメニカル運動も牽引力が低下しています。

このように様々な困難に直面する只中であって、NCCは創立70周年をむかえる2018年に「NCC主催・宣教会議2018」を開催することを常議員会にて決定し、それに向けて2016年度と2017年度内に2回ずつ「プレ集会」を開催することになりました。

プレ集会は、それぞれ第1回<宣教＝ケリュグマ>、第2回<奉仕＝ディアコニア>、第3回<証し＝マルトウリア>、第4回<祈り・礼拝＝レイトゥルギア>を切り口に開催します。そして、全4回のプレ集會を経た後、<交わり＝コイノニア>をテーマに「NCC主催・宣教会議2018」を開催し、プレ集會で共有した課題や、提示された問いを集約し、加盟教派・団体をはじめとした多くのキリスト教会や諸団体が共に手を携え、協働していく包括的宣教のビジョンを描き出す機会にしたいと願っています。

第1回目のプレ集會を2016年9月24日（土）、第2回目を今年2月4日（土）に開催しました。第3回目は、<証し＝マルトウリア>×<世代間協働>—生活の中で福音を具体的に証しすること「現場における多様な証し—保育・教育現場における世代間協働の実践と想い」を主題に、来る9月9日（土）に開催いたします。

キリスト教諸教派・団体がそれぞれの宣教において大切にしてきた5要素に基づき、ゆるやかな連続性をもつプレ集會と宣教会議を下記の通り予定しておりますので、大変お忙しい中と存じますが、ご協力・周知のほど、よろしくお願いいたします。

2017年7月5日

NCC 議長 小橋孝一
プレ集會実行委員長 NCC 副議長 矢萩新一

NCC 主催・宣教会議 2018 プレ集会・本会議の流れ

第 1 回プレ集会

<宣教=ケリュグマ>×<青年>
—み言葉に聴き、伝えること

「青年を主体とした宣教・青年に対する宣教
—諸教会・キリスト教諸団体の取り組みから」

2016年9月24日(土)

第 2 回プレ集会

<奉仕=ディアコニア>×<いのち>
—世界、社会の必要に応え仕えること

「『いのち』の痛みへの共感と応答
—正義の回復と平和の実現に向けて」

2017年2月4日(土)

第 3 回プレ集会

<証し=マルトウリア>×<世代間協働>
—生活の中で福音を具体的に証しすること

「現場における多様な証し
—保育・教育現場における
世代間協働の実践と想い」

2017年9月9日(土)

第 4 回プレ集会

<祈り・礼拝=レイトウルギア>×<多様性>
—祈り、礼拝すること

「今この時代に届けたい祈りと聖書のメッセージ
—多言語礼拝、テゼ、宗教間対話などの現場から」

2018年2月3日(土)

NCC 主催・宣教会議 2018

<交わり=コイノニア>×<包括的な宣教>
—主にある交わり、共同体となること

「『神の愛』と『神の義』の交わる場に生きる私たち
—ともに手を携えた包括的宣教に向けて」

2018年4月以降 日程・場所未定



「NCC主催・宣教会議 2018」

■ 目的

日本における宣教をともに担い、福音を伝え続けるキリスト教諸教派・団体が、深刻化する経済格差・暴力・コミュニティの分断・地球規模の環境破壊など様々な状況の中で、聖書に示されたイエス・キリストの宣教の業と神の愛に基づく、正義の回復と平和構築のために協働を強め、社会に対するキリスト者のメッセージを届ける。

■ 課題の共有と協働

経済格差による生活保護世帯の増加や一人親世帯の困窮（失業率・非就職率の増加、子どもの個食）、移住労働者・滞日外国人の生活の困窮、日本軍「慰安婦」の課題、LGBTの人権の課題、ヘイトスピーチにみるマイノリティの排斥と人権侵害、女性・子ども・高齢者への暴力、集団的自衛権の行使や憲法第9条の改悪、学校教育の現場への道徳教育の押し付けと「日の丸・君が代」の強要、マスメディアへの圧力と情報統制、東日本大震災被災や九州地震被災、東京電力福島原発事故による放射能汚染と健康被害、個人主義社会の拡大と地域コミュニティの断絶（孤独死・自殺者の増加）など、様々な課題が、神さまの創造の業である人間や自然の「いのち」を脅かしている。

日本におけるキリスト教諸教派・団体では、信徒および活動者の高齢化と人数の減少、リーダー層の交代の課題を抱えている。地域的にも全国的にも日本のエキュメニカル運動の担い手が不足し、運動の牽引力が低下している。

そのような中、ともに手をつなぎ、協働し、強められて遣わされる宣教会議を目指したい。

プレ集会（「NCC主催・宣教会議 2018」に向けて）

■ 目的

「NCC主催・宣教会議 2018」に向けて、キリスト教各教派・団体の現場の課題出し合って共有し、エキュメニカル運動の再構築を目指す。キリスト教諸教派・団体が大切にしてきた<宣教><奉仕><証し><祈り・礼拝>を切り口に幅広いテーマを取り上げ、様々なキリスト教会・キリスト教団体が取り組む宣教課題の共有に努める。

その上で、教会および関連団体が多世代・多文化共生のビジョン構築をはかりつつ、正義と平和の課題にどのような聖書のメッセージを発し、またそれを具現化していくか模索する機会とする。複数回のプレ集会での発題と協議結果は最終回で集約し、プレ集会参加者の協議をもって「NCC主催・宣教会議 2018」の準備とする。

■ 人数規模

教派・団体より各2～3名、NCC役員、NCC神学宣教部門各委員会、NCC宣教奉仕部門各委員会など
計50名程度（教派・団体の参加者は、代表者1名、関係委員会等より1名、青年1名）
⇒できるだけ2018年の宣教会議にも参加

■ 参加費（1回）

2,000円（30歳以下の青年は1,000円）

※参加者の宿泊費・交通費は各教派・団体にご負担ください。

■ 第3回プレ集会プログラム（案） 2017年9月9日（土）

会場：日本基督教団会議室 AB

総合司会：吉高 叶（NCC 常議員／日本バプテスト連盟）

9：30	開場・受付
10：00	開会礼拝 メッセージ 吉高 叶（NCC 常議員／日本バプテスト連盟）
10：20	参加者紹介
10：30	<p>取り組み報告</p> <p>※質疑や休憩なども交えながら進行</p> <p>報告① 鈴木健さん（川崎市ふれあい館）</p> <p>報告② 平良愛香さん、臼井一美さん（子ども平和会議の元担当者）</p> <p>報告③ 比企敦子さん（NCC教育部総主事）</p>
12：30	昼食（弁当）
13：30	<p>パネルディスカッション コーディネーター：大江浩（日本YMCA 同盟）</p> <p>※フロアからの発言、休憩なども交えながら進行</p> <p>発題① 瀬口哲夫さん（東京YWCA まきば保育園 副園長）</p> <p>発題② 下条知加子さん（葛飾学園 チャプレン）</p> <p>発題③ 井口 真さん（東京YMCA 高等学院 学院長）</p>
15：30	休憩
15：45	<p>グループディスカッション</p> <p>報告・発題を受けて（5～6名のグループ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福音の証しとしての教育・共育 ・教会の幅広い世代をつなぐ宣教
16：45	全体での分かち合い（グループディスカッションの内容を簡単に発表）
16：55	閉会の祈り
17：00	解散
<p>プレ集会の発題内容、グループディスカッション、全体協議の内容は記録し、 「NCC 主催・宣教会議 2018」の資料とする。</p>	